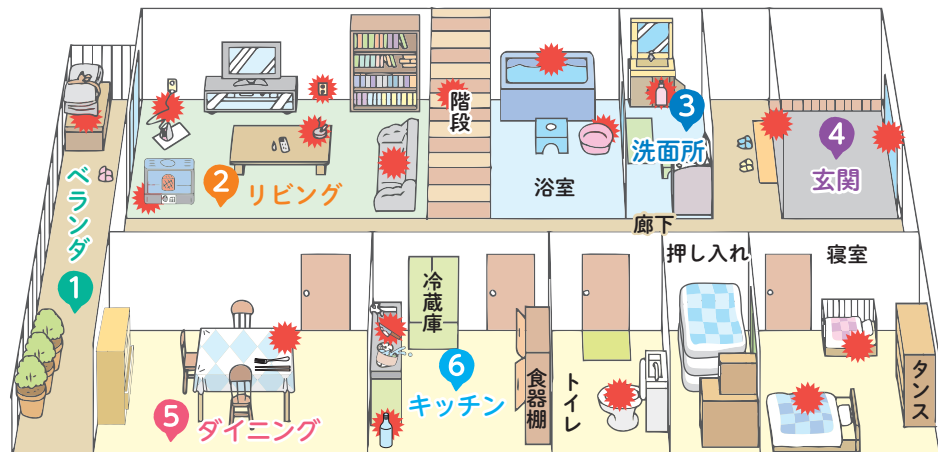




# ！起こりやすい事故




つい気がゆるみがちな家の中、大人では問題ない場所・物でも、赤ちゃんや子どもにとっては多くの危険が潜んでいます。実際に、事故を経験してしまった保護者の80%以上が、「少しの気配りをするだけで、事故を防ぐことができた」とアンケートで回答しています。子どもの事故は、発達と事故の関係を知り、大人が少しの気配りをするだけで、未然に防ぐことができます。事故を防ぐために室内の環境を見直して、子どもに安全をプレゼントしてあげましょう。




## 1 ベランダ

- 内側から鍵をかけて締め出されないよう注意していますか？
- 柵が低いなど転落の危険性はないですか？ 
- よじ登って柵を越えてしまいそうな場所や物はないですか？ 

## 2 リビング

- テーブル上のクリップやコイン、タバコや灰皿、ボタン電池など誤飲しそうなものはありませんか？ 
- アイロンやストーブなど触れてやけどしそうなものはありませんか？
- ソファやベッドなど高いところからの転落に注意していますか？ 
- コンセントは感電防止対策がされていますか？ 

## 3 浴室・洗面所

- 洗剤や化粧品など誤飲しそうなものが手の届くところにありませんか？
- 浴槽や洗面器に水をためたままにしていますか？ 
- 浴室のドアは子どもが1人で開けることが出来ない工夫をしていますか？



## 4 玄関

- 玄関の段差は危険な高さではありませんか？
- 戸外がすぐ道路に直面しているなど危険が想定される場合、簡単に出られないように対策がされていますか？

## 5 ダイニング

- テーブルクロスなど赤ちゃんが引っ張って物が落ちそうなものはないですか？
- おはしやフォーク、歯ブラシなどをくわえたままで歩かせたり、走り回ったりさせていませんか？

## 6 キッチン

- コンロや鍋、やかん、桌上的料理、ポット、炊飯器の蒸気口などやけどの原因に近づかない対策はできていますか？
- びんなど割れやすいものが床に置いてありませんか？ 
- 包丁などの器具は使用后に必ず片付けていますか？ 

## 7 その他

- 引き戸など手を挟みそうな場所の対策はされていますか？
- カーテンのひもなど窒息の原因になりそうなものは取り外していますか？
- 地震に備え、倒れてくる危険のある家具・家電類は固定されていますか？